

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域職業相談室運営事業			会計	款	項	目	大	小
				01	05	01	01	01	55
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課				
施策	5-3	誰でもが安心して働ける環境・基盤づくり		主管課長	渋谷 俊之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	求職者	意図	職業相談及び求人情報の提供や職業紹介により、雇用を促進し、生活の安定を図る。
事業内容	・ハローワーク松戸と連携し、ハローワーク2名、市1名の相談員を設置し、求人紹介や求人情報の提供。			
事業開始から現在までの状況変化	・平成17年に国と市が連携し、流山市地域職業相談室を開設し、相談、求人紹介業務等を展開している。相談室の利用状況は景気の変動により増減はあるが、ここ数年、利用者は減少している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	ジョブサポート流山の年間利用者数	4,459	4,177	3,529	人	↑↑↑
②	就職率	15.10	16.35	18.53	%	↑↑↑	就職者数/求人紹介者数
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・地域職業相談室の利用者の減少は、求人有効倍率の上昇など雇用環境が安定してきたものと考えられる。
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,671,569	1,676,007	1,727,819			
事業費(b)(円)		1,339,749	1,350,157	1,405,609			
うち一般財源		1,339,749	1,350,157	1,405,609			
職員給与費(c)(円)		331,820	325,850	322,210			
人役・職員(人)		0.04	0.04	0.04			
人役・再任用(人)		0.01	0.01	0.01			
人役・臨職(人)		0.03	0.03	0.03			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	就職個別相談事業への誘導やスキルを高めるための情報提供など、早期就労を支援する。	③取組における課題(Check)	人手不足等により、雇用環境は改善しているが、求職者への安定した支援の必要性がある。
②H30に実施した取組(Do)	相談者に、就職個別相談への誘導や就労支援セミナー等の情報提供をした。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	求人情報の提供に留まることなく、就労支援事業等による就職スキルを高めるための情報提供を始め、就職個別相談事業へ誘導し早期就労を支援する。